

令和7年度
事業報告書

目 次

- 02 事業総括（共通事項）
- 04 法人組織体制・運営
- 19 障害者支援施設オイコニア
- 36 グループホーム笑和
- 40 相談支援事業所わらわ
- 43 デイサービスセンター緑林荘
- 46 居宅介護支援事業所りょくりん
- 47 デイサービスセンターさくら貝
- 51 配食サービス事業
- 52 地域における公益的な取り組み

令和7年度 事業総括

明成会中長期計画及び事業計画のもと、多様化・複雑化する地域課題の変化に対応すべく各事業所それぞれの課題に取り組んできました。また、法人内部では、法人共通の委員会活動や研修会、地域活動など積極的に行い、法人内の人事交流と情報交換を図り、働きやすい職場環境の改善とケアの充実に取り組みました。

今年度は法人全体で13名（内、正職員5名）が退職、特にオイコニアの生活支援員の退職者数がここ数年で最も多く、人材確保が急務となりました。そのため、業務の見直しを繰り返しながらご利用者へ生活の維持向上に努めてきました。年度途中には職員の採用ができず次年度に向けた採用として正職員の生活支援員4名、管理栄養士と事務員各1名、パート職員2名を採用できましたが、看護師の補充できず人員体制が維持できない見通しとなり、また、障害者雇用についても法定雇用率を満たさなくなりました。

6月には理事・監事及び評議員等の改選となり、理事1名、監事2名、評議員6名の退任後、新たに外部理事1名、監事2名、評議員7名、顧問1名が選任されました。今回の改選では評議員の半数以上が入れ替わりましたが、引き続き地域福祉に精通している委員も多く加わり、評議員会としてのチェック機能を果たし、地域に根ざした法人運営をより一層進めていく体制が整いました。

今年度の重点項目である『生産性の向上に向けたDX化』については、生産性向上業務改善委員会を中心にオイコニア建替プロジェクト会と連携しながらICT機器・介護ロボット導入や先進的な施設の見学、外部研修に積極的に参加し、業務改善に向けた検討を進めてきました。オイコニアではナースコールの更新に向け助成金の申請を行いました但不採択となり、次年度の導入に向け引き続き検討を行うこととなりました。

『処遇全般の向上』として、4月から人事評価制度、等級制度、給与制度の改正を行い、処遇改善の向上に取り組んできました。特に、給与制度では、処遇改善手当や通勤手当、扶養手当など見直すとともに基本給の昇給方法についても現状の採用状況に応じた昇給となるよう見直してきました。また、高知県福祉・介護職員処遇改善等支援交付金については、来年度に賃金改善を実施することとしました。年次有給休暇については、取得率80%を目指し取り組みましたが、人員体制の課題等もあり3月末の取得率は67%でした。

地域における公益的な取組としては、『しまんとオレンジカフェほほえむ』を毎月1回開設し、徐々に利用する方も増え、定着してきました。多職種が関わることで地域ニーズの把握、地域との関係性の構築につながり明成会の事業内容が地域に浸透してきています。また、地域サポート隊活動として、六反地駅・施設周辺の草刈り、近隣の宅老所と連携した出前講座を積極的に行いました。

障害福祉サービス事業収入について、オイコニアではご利用者の入退所数と入院者数の増加や障害支援区分の軽度化などにより前年比マイナス1.5%、491万円の減収となり、笑和でも前年度比マイナス7.5%、151万円の減収となりました。一方、介護保険事業収入について、緑林荘では前年比11.1%、661万円の増収、さくら貝では前年比マイナス19.6%、373万円の減収となり、在宅のご利用者数の減少と要介護度の軽度化傾向の中、緑林荘ではサービス提供事業者数の閉鎖

による一時的な増収につながりました。また居宅介護支援事業所りょくりんでは、介護支援専門員を2名体制から3名体制としたことで徐々に収入も増え、前年比 53.1%、634 万円の増収となりました。その他、配食事業においては前年比マイナス 16.5%、566 万円の減収となり、委託元の四万十町と現状の課題等について報告し、検討を行った結果、在宅生活を支える上では重要なサービスの一つであり、事業が継続できるよう来年度から委託契約を見直し、値上げを行うこととなりました。

近年の物価高騰等の影響により、主に電気や燃料費等の他、全面的に消耗品費等の単価も上昇してきました。そのため、物品購入等の発注業者とは慎重に交渉を行い経費削減に取り組んできました。

今年度も建替えに向けた計画的な資金確保としてオイコニアでは 2,500 万円の積立を行うことができました。社会福祉充実残額については、1 億 9,928 万円算出され昨年度より 2,729 万円の増額となり、社会福祉充実計画における建替え資金である事業費を見直しすることにしました。

以上を令和 7 年度の総括とします。

1 組織体制

① 役員

理 事 8 名（6 名以上 8 名以内）

任期 令和 7 年 6 月 2 7 日から令和 9 年定時評議員会の終結時

監 事 2 名（定数 2 名）

任期 令和 7 年 6 月 2 7 日から令和 9 年定時評議員会の終結時

② 評議員 1 0 名（7 名以上 1 1 名以内）

任期 令和 7 年 6 月 2 7 日から令和 1 1 年定時評議員会の終結時

③ 職員（在籍人数）

事業所別 雇用形態	性別	オイコニア		笑和 わらわ	緑林荘 りょくりん	さくら貝	配食	合計
			生活支援員					
正 職 員	男	1 5	1 0		2			1 7
	女	1 1	5	1	5	1		1 8
契約職員	男	3	1				3	6
	女	7	6	3	4	1		1 5
嘱託職員	男						1	1
	女	1	1		2			3
合 計		3 7	2 3	4	1 3	2	4	6 0
	男	1 8	1 1		2		4	2 4
	女	1 9	1 2	4	1 1	2		3 6

※令和 8 年 3 月末現在

2 組織運営

《 理 事 会 》

第1回 理事会 令和7年6月5日（木）午後1時55分～午後3時45分

＜理事：7名出席（伊井野太志理事欠席）、監事：2名出席、議長：西村知絵理事＞

（1）報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

事業経過及び予算執行状況、重要な契約内容など

（2）承認及び議決事項

第1号議案 令和6年度事業報告書の承認について

【提案理由】定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜令和6年度 明成会事業報告の提示＞

1. 事業総括
2. 障害者支援施設オイコニア
3. グループホーム笑和
4. 相談支援事業所わらわ
5. デイサービスセンター緑林荘
6. デイサービスセンターさくら貝
7. 居宅介護支援事業所りょくりん
8. 配食サービス事業

第2号議案 令和6年度決算関係書類の承認について

【提案理由】定款第33条第1項の規定にもとづく報告並びに審議

＜令和6年度 財務諸表の提示＞

1. 財産目録
2. 貸借対照表
3. 資金収支計算書
4. 事業活動収支計算書

第3号議案 承認社会福祉充実計画の変更について

【提案理由】

経理規程第75条及び第76条の規定により、社会福祉充実残額の増額となり令和5年度承認の社会福祉充実計画の変更を行うため、評議員会の承認に向けた審議

第4号議案 次期役員（理事・監事）及び顧問について

【提案理由】

定款第15条第1項及び第16条第1項の規定により、評議員会に提案する次期理事・監事について審議。定款第23条第2項により、顧問について審議

第5号議案 評議員選任・解任委員会の委員の選任について

【提案理由】

評議員選任・解任委員会運営規定により、外部委員2名、監事1名について審議

第6号議案 評議員選任・解任委員会に推薦する次期評議員候補者について

【提案理由】

定款第6条第3項及による評議員選任候補者の推薦の提案について審議

第7号議案 定時評議員会の招集について

【提案理由】

定款第12条第1項の規定により、定時評議員会の日程等について審議

第2回 理事会 令和7年6月27日（金）午後4時30分～午後4時55分

＜理事：8名出席、監事：2名出席、議長：山本康雄理事＞

第1号議案 理事長の選定について

【提案理由】

定款第16条第2項の規定による理事長の選定

第2号議案 副理事長の選定について

【提案理由】

定款第16条第2項の規定による副理事長の選定

第3号議案 常務理事の選定について

【提案理由】

定款第16条第2項の規定による常務理事の選定

第3回 理事会 令和7年9月24日（水）午後1時55分～午後3時00分

＜理事：8名出席、監事：1名出席（大野憲二監事欠席）、議長：吉岡美保子理事＞

（1）報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

重要な契約内容、事業経過など

②予算執行状況

（2）承認及び議決事項

第1号議案 令和7年度第1次補正収支予算書の承認について

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔緑林荘拠点区分〕

〔さくら貝拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔居宅介護支援事業拠点区分〕

(2) 協議事項

評議員選任・解任委員について、第1回理事会において選任したが、それぞれ同一の NPO 法人の役員であったため、協議を行った。

第4回 理事会 令和7年12月9日（火）午後1時55分～午後3時20分

＜理事：8名出席、監事：2名出席、議長：大崎和正理事＞

(1) 報告事項

①理事長・常務理事の職務執行の状況報告

重要な契約内容、事業経過など

②予算執行状況

③上半期の事業報告

④指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所間 一体的管理運営のための協定について

(2) 承認及び議決事項

第1号議案 令和7年度第2次補正収支予算書の承認について

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔緑林荘拠点区分〕

〔さくら貝拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔配食事業拠点区分〕

〔居宅介護支援事業拠点区分〕

第2号議案 第2回評議員会の日程等について

【提案理由】

定款第12条第1項の規定により、第2回評議員会の日程等について審議

第3号議案 「評議員選任・解任委員会」委員の変更について

【提案理由】

評議員選任・解任委員会運営規定により、監事について審議

(3) 協議事項

評議員選任・解任委員について、第1回理事会において選任したが、それぞれ同一の NPO 法人の役員であるため、再協議を行う。

第5回 理事会 令和8年3月25日（水）午後2時00分～午後3時20分

＜理事：8名出席、監事：2名出席、議長：伊井野太志理事＞

（１）報告事項

- ①理事長・常務理事の職務執行の状況報告
重要な契約内容、事業経過など
- ②予算執行状況
- ③来年度の組織体制

（２）承認及び議決事項

第1号議案 令和7年度第3次補正収支予算書の承認について

【提案理由】 定款第32条第1項の規定による審議

〔オイコニア拠点区分〕

〔緑林荘拠点区分〕

〔さくら貝拠点区分〕

〔笑和拠点区分〕

〔配食事業拠点区分〕

〔居宅介護支援事業拠点区分〕

第2号議案 令和8年度事業計画書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における令和8年度事業計画書の審議

第3号議案 令和8年度収支予算書の承認について

【提案理由】

定款第32条第1項の規定における令和8年度収支予算書の審議

第4号議案 諸規程の改正等にもなう審議

- 「デイサービスセンター緑林荘 運営規程」（通所介護、総合事業通所介護）

【提案理由】

物価高騰等による食費の値上げにもなう一部改正

- 「デイサービスセンターさくら貝 運営規程」（通所介護、総合事業通所介護）

【提案理由】

物価高騰等による食費の値上げにもなう一部改正

《 監事監査 》

監事監査 令和7年5月23日（金）午後2時00分～午後4時40分

＜監事：2名出席、顧問税理士：1名出席、職員5名＞

【 指摘事項等は特になし 】

《 評 議 員 会 》

定時評議員会 令和7年6月27日（金）午後2時00分～午後3時40分

評議員：8名出席（中嶋敏親評議員欠席）、監事：2名出席、理事：4名出席

議長：戸田晶秀評議員

議事録署名人：佐々木香代評議員 田井智子評議員

（１）報告事項

- 1 令和6年度 第2次補正収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 2 令和6年度 事業報告（定款第33条第2項の規定による）
- 3 令和7年度 事業計画書（定款第32条第2項の規定による）
- 4 令和7年度 収支予算書（定款第32条第2項の規定による）

（２）承認及び議決事項

第1号議案 令和6年度 決算関係書類の承認について

【提案理由】

定款第33条第2項の規定にもとづく審議

＜令和6年度 決算関係書類＞

1. 資金収支計算書
2. 事業活動計算書
3. 貸借対照表
4. 財産目録

第2号議案 承認社会福祉充実計画の変更に係る承認について

【提案理由】

定款第10条第1項第8号の規定にもとづく審議

第3号議案 次期役員（理事・監事）の選任及び顧問について

【提案理由】

定款第10条第1項第1号の規定による次期理事及び監事の選任

定款第23条第2項の規定による顧問について審議

第2回評議員会 《令和7年12月25日（木）午前10時00分～午前11時55分》

評議員：10名出席、監事：2名出席、理事：4名出席

議長：中嶋敏親評議員

議事録署名人：田井暢人評議員 佐竹あゆみ評議員

報告事項

- 1 令和7年度 上半期事業報告（定款第33条第2項の規定による）
- 2 令和7年度 第1次・第2次補正収支予算書（定款第32条第2項の規定による）
- 3 令和7年度 予算執行状況（定款第33条第2項の規定による）

＜ 評議員選任・解任委員会 ＞

第1回評議員選任・解任委員会 令和7年6月17日（火）午後3時35分～午後3時50分

外部委員：2名出席、監事：1名出席、理事：2名出席

議長：岡林寿男監事

議事録署名人：岡林寿男監事 牧野利恵子委員 窪田健造委員

（審議及び議決事項）

第1号議案 社会福祉法人明成会評議員の選任について

【提案理由】

評議員選任・解任委員会運営規則第9条による評議員候補者の推薦者の審議

3 法人共通委員会

1) 運営会

各事業所から役職員が集まり事業運営の情報交換や様々な課題について検討し、今後の経営方針について周知、事業予算と実績数値などについて意見交換を行った。

開催日	参加人数	場所
4月10日(木)	11名	避難スペース オイコニア
5月8日(木)	11名	避難スペース オイコニア
6月11日(水)	11名	避難スペース オイコニア
7月15日(火)	11名	避難スペース オイコニア
8月7日(木)	11名	避難スペース オイコニア
9月8日(月)	11名	避難スペース オイコニア
10月10日(金)	11名	避難スペース オイコニア
11月13日(木)	11名	避難スペース オイコニア
12月10日(水)	11名	避難スペース オイコニア
1月8日(木)	11名	避難スペース オイコニア
2月10日(火)	11名	オイコニア 会議室
3月11日(水)	11名	避難スペース オイコニア

2) オイコニア建替プロジェクト会

10年以内の施設建替えに向け、先進的な施設見学や将来的な施設の概要を検討するため、長期的な視点で取組みを行った。また、県外の先進的な福祉施設の見学を行った。

開催日	参加人数	場所
4月10日(木)	10名	避難スペース オイコニア
8月7日(木)	10名	避難スペース オイコニア
10月10日(金)	10名	避難スペース オイコニア
2月10日(火)	10名	オイコニア 会議室

3) 人材マネジメント制度検討委員会

令和7年4月の人材マネジメント制度改正に向け、前年度から引き続き外部講師による定期的な検討委員会を行うとともに、リーダー層の研修としてマネジメント力の向上に取り組んだ。

開催日	参加人数	種別	場所
8月26日(火)	6名	人事評価制度	避難スペース オイコニア

4) 法人広報委員会

法人の様々な事業活動や提供するサービス内容、公益的な取組みなど積極的なPRに努めるため、SNS（インスタグラムやティックトック）の随時更新に努め、パンフレット等の作成に取り組んだ。

開催日	参加人数	場 所
5月19日（月）	5名	オイコニア 相談室
8月13日（水）	4名	オイコニア 相談室

※その他、随時開催する

5) 健康づくり委員会

職員の健康のための運動習慣を普及させるため、運動の正しい知識を持つとともに健康づくりに積極的に取組を行った。

開催日	参加人数	場 所
4月30日（水）	5名	緑林荘
6月1日（日）	5名	緑林荘
8月20日（水）	4名	オイコニア 会議室
10月13日（月）	4名	避難スペース オイコニア
2月7日（土）	5名	オイコニア 会議室
3月16日（月）	5名	オイコニア 会議室

6) 感染症対策委員会

施設内の具体的な感染症対策の計画を立て、マニュアル等を作成・見直しを行うなど感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための対策を定期的に行った。

開催日	参加人数	場 所
4月10日（木）	11名	避難スペース オイコニア
7月15日（火）	11名	避難スペース オイコニア
10月10日（金）	11名	避難スペース オイコニア
1月8日（木）	11名	避難スペース オイコニア

7) 権利擁護・身体拘束廃止・虐待防止委員会

身体拘束の事案についての検討や差別・虐待等の防止にむけた支援マニュアルの見直し、実践的な研修や会議の実施、職員の虐待防止への意識を高めるためのチェックリストを実施し、ご利用者の権利侵害の防止と早期発見に努めるための対策を定期的に行った。

開催日	参加人数	場 所
5月8日（木）	11名	避難スペース オイコニア
8月7日（木）	11名	避難スペース オイコニア
11月13日（木）	11名	避難スペース オイコニア
2月10日（火）	11名	オイコニア 会議室

8) 危機管理・防災対策委員会

南海地震等の自然災害発生時や感染症発生時においても最低限の障害福祉サービスが提供できるよう定期的に事業継続計画（BCP）を見直し、職員の防災・危機管理能力向上のための教育、訓練を実施するため定期的に検討を行った。

開催日	参加人数	場 所
6月11日（水）	11名	避難スペース オイコニア
9月8日（月）	11名	避難スペース オイコニア
12月10日（水）	11名	避難スペース オイコニア
3月11日（水）	11名	避難スペース オイコニア

9) 生産性向上業務改善委員会

業務負担の軽減・効率化を目指し、生産性向上のための業務改善に向けた現場の課題の見える化（課題の抽出や課題の構造化等）について定期的に検討し、業務改善を行った。

開催日	参加人数	場 所
8月7日（木）	11名	避難スペース オイコニア
10月10日（金）	11名	避難スペース オイコニア
2月10日（火）	11名	オイコニア 会議室

4 法人共通研修

明成会の職員として、法人、施設の方針にもとづき、使命感をもって各自の役割を的確に遂行できるように組織全体でサービスの質の向上と定着につながる育成的な職場環境を目指し、年間研修計画に沿って研修を行った。

1) 集合研修

研修内容	開催日	対象者	内 容
事業所間交換研修	5月16～20日	1名	緑林荘とオイコニア間で交換研修を行うことで法人内の事業所間連携、協働により人間関係の構築等相乗効果を図った
新任職員研修	6月2・3日	新任職員 (1名)	明成会の経営理念、法人概要を理解し、福祉施設職員としての必要な基礎的知識・技術・技能の習得
身体拘束・虐待防止研修	7月25日	全職員 (27名)	利用者の人権擁護、虐待防止、身体拘束等の適正化を図るための福祉専門職としての知識とスキル向上を図った 講師:高知県人権啓発センター 利岡氏
ハラスメント研修	9月22日	全職員 (30名)	職場におけるカスタマーハラスメントについての知識と対策の取組みについて学んだ 講師:社会保険労務士事務所 大野氏
人事評価者研修	10月6日	人事評価者 (12名)	新人事制度運用開始にあたり、事例を用いて評価方法について習得
人材マネジメント研修	11月19・20日	人事評価者 (12名)	新人事制度「業務管理評価シート」の活用と評価方法について学んだ 講師:エイデル研究所 和田氏
専門職研修	11月28日	全職員 (26名)	スキルアップ研修として意思決定支援(利用者の権利とは何か)について学んだ 講師:くもん社会福祉事務所 公文氏
法人研究発表会	3月18日	全職員 (29名)	一年間の取組みの成果を発表することで、職員全体の資質向上と内発的モチベーションの向上を図った

2) 外部研修

経営協、身障協、老施協などその他の団体が企画する研修へ派遣を行った

〔障害者支援施設オイコニア〕

- 4月11日（金）中・四国身体障害者施設協議会 第1回研修委員会（徳島／岡村）
28日（月）高知県身体障害者（児）施設協会総会（高知市／岡村、矢野）
5月12日（月）中・四国身体障害者施設協議会総会及び施設長研修会（松山市／岡村）13日迄
13日（火）高知県社会福祉法人経営協議会総会及び研修会（高知市／岡村）
〃、理事会（高知市／大崎）
高知県社会福祉法人経営青年会総会及び研修会（高知市／矢野）
20日（火）全国身体障害者施設協議会第1回協議員総会（東京／岡村）
6月 9日（月）サービス管理責任者基礎研修（高知市／中野）2日間、動画視聴
17日（火）相談支援従事者初任者研修及びサービス管理責任者基礎研修
（高知市／武政）2日間、動画視聴
7月 3日（木）感染症対策研修会（須崎市／黒岩・有澤）
10日（木）中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー、施設見学 王慈療護園
（岡山市／岡村・大崎・吉岡）11日迄
清水基金国内研修（東京都／武政）12日迄
17日（木）高知県社会福祉法人経営青年会セミナー（高知市／武政）
8月 4日（月）ティーチング研修（高知市／山脇）
14日（木）福祉職員キャリアパス対応生涯研修初任者研修（高知市／前田）15日迄
25日（月）高知県経営協セミナー（前期）（高知市／岡村・大崎・矢野）
9月10日（水）全国身体障害者施設協議会研究大会、施設見学 聖ヨハネ学園
（富山市／岡村・武政・中野・中城）12日迄
17日（水）全国社会福祉法人経営者大会（福岡市／岡村・矢野・大崎・吉岡）19日迄
25日（木）中・四国身体障害者施設職員研修大会（松山市／岡村・矢野・下元）26日
10月 7日（火）国際福祉機器展及び施設見学（社会福祉法人善光会）
（東京／矢野・豊田・岡本）8日迄
30日（木）中・四国スキルアップ研修（徳島市／岡村・竹本）31日迄
11月21日（金）高知県身体障害者（児）施設協会合同研修会（高知市／岡村・豊田・土居）
24日（月）高知県経営協 被災地視察（石川県／大崎）26日迄
12月 3日（水）全国老人福祉施設大会・研修会議（山口市／豊田）
19日（金）四万十町介護職員研修会（庁舎／黒岩、西村）
1月20日（火）高知県サービス管理責任者等実践研修（高知市／武政、中野）21日迄
21日（水）障害者虐待防止マネジャー研修会（東京／岡村）
2月12日（木）中・四国身体障害者施設協議会 総会及び施設長研修会
（鳥取市／岡村）13日迄
19日（木）アンガーマネジメント研修（オンライン／黒岩）
社会福祉施設総合保険制度説明会（高知市／岡村）

3月 3日（火）全国身体障害者施設協議会 経営セミナー及び協議員総会
（東京／岡村、矢野）4日迄
9日（月）ケアテーマ別研修「急変への気づきと対応」（オンライン／真殿）

〔グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ〕

8月25日（月）高知県高次脳機能障害支援養成研修（高知市他／中平）計4日間

〔デイサービスセンター緑林荘・居宅介護支援事業所りょくりん〕

7月 2日（水）高知県相談支援従事者初任者研修（高知市他／泥谷）5日間、動画視聴
10日（木）中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー、施設見学 王慈療護園
（岡山市／西村）11日迄
17日（木）高知県社会福祉法人経営青年会セミナー（高知市／泥谷）
安全運転管理者講習（四万十町／西村）
23日（水）高知県高齢者虐待防止・権利擁護研修（高知市／西村、岩崎）
8月16日（土）介護支援専門員更新（専門）研修（オンライン研修／岩崎）5日間
9月17日（水）全国社会福祉法人経営者大会（福岡市／西村）19日迄
10月 7日（火）国際福祉機器展及び施設見学（社会福祉法人善光会）（東京／西村）8日迄
11月10日（月）高知県介護支援専門員連絡協議会中央西・高幡ブロック研修会
（いの町／岩崎・松田）
13日（木）高幡5市町在宅医療・介護連携合同研修会（四万十町／岩崎・松田・北川）
12月 3日（水）全国老人福祉施設大会・研修会議（山口市／河上・泥谷）5日迄
19日（金）四万十町介護職員研修会（庁舎／串田）
2月19日（木）社会福祉施設総合保険制度説明会（高知市／泥谷）

3) 自己啓発の支援

職員が自発活動として自らの専門知識の習得・能力開発を目的に休暇を利用し、外部研修会に参加する場合、研修参加費等を援助することにより、職員の経済的負担を軽減する。

実績：4名（研修費他58,749円支給）

5 施設・設備整備等の事業

令和7年4月からの施設・設備整備事業は、次のとおりです。

＜注：10万円以上の「固定資産」「修繕」等を掲載＞

オ イ コ ニ ア

〔備品〕

- ・蓄電池（5台）、ソーラーパネル（2台） 1,704,000 円＜(株)フタガミ＞
- ・パソコン（1台） 246,180 円＜四国電話工業(株)＞
- ・エアコン（2台） 160,600 円＜井上住電設備＞
- ・エアマット（2台） 320,810 円＜アルフレッサ篠原化学(株)＞
- ・家庭用全自動洗濯乾燥機 298,000 円＜(有)駅前電化センター＞
- ・家庭用全自動洗濯機 159,800 円＜(有)駅前電化センター＞
- ・パソコン（1台） 216,700 円＜四国電話工業(株)＞
- ・ノートパソコン（3台） 808,500 円＜四国電話工業(株)＞

〔ソフトウェア〕

- ・給食栄養管理システムの更新他 1,249,600 円＜陽和産業(株)＞

〔修繕他〕

- ・ボイラ保守点検委託費 104,500 円＜(株)巴商会＞
- ・人材マネジメント制度運用サポート契約 165,000 円＜(株)エイデル研究所＞
- ・ワックス清掃業務 311,135 円＜(有)よさこい管理＞
- ・浄化槽放流ポンプ取替工事 209,000 円＜日本化工(株)＞
- ・防火設備の定期報告書作成 264,000 円＜小松建設(株)＞
- ・高圧ケーブル取替工事 1,133,000 円＜(財)四国保安協会＞
- ・受水槽清掃消毒作業 132,000 円＜三栄工業(株)＞
- ・非常用発電機 蓄電池取替 297,000 円＜四国エンジンテクノ(株)＞
- ・洗濯室 改修工事 450,000 円＜小松建設(株)＞
- ・浄化槽汲取り清掃 178,200 円＜(有)田辺台地衛生＞
- ・トイレ改修工事 627,000 円＜(株)日化住宅機器＞

笑 和

〔備品〕

- ・パソコン（1台） 160,490 円＜陽和産業(株)＞

〔修繕他〕

- ・便座交換 123,750 円＜宮脇水道＞

緑 林 荘

〔修繕他〕

- ・ボイラ保守点検委託費 123,200 円＜(株)巴商会＞

り ょ く り ん

〔備品〕

- ・パソコン増設（1台） 219,230 円＜陽和産業(株)＞

〔ソフトウェア〕

・クライアント使用权（追加）

260,700 円＜陽和産業(株)＞

配 食 サ ー ビ ス

〔車輛〕

・配送車両（日産クリッパーリオ）

680,000 円＜(株)ホンダカーズ須崎＞

《 障害者支援施設オイコニア 》

生活支援の状況

ご利用者の自己選択・自己決定を尊重しながら、その人らしい自立した生活を送ってもらうために、良質かつ安心、安全なサービスの提供に努めた。また、ご利用者一人ひとりの能力や嗜好に合った生活空間が持てるよう配慮した。個別支援計画については、ご利用者の強みや障害特性、解決すべきニーズを把握し、本人の望む自立した生活が実現できるよう計画作成に努めた。今年度より意思決定支援の推進方策が報酬改定に盛り込まれたため、改めてご利用者へ施設生活希望や課題等への意思確認を実施し個別支援計画へ反映している。

日中活動事業である生活介護サービスについては、各ライフサポート委員会で今年度の取り組み計画を作成し生活の充実にむけた活動を実施した。5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を通じて仕事のバラツキをなくし品質と生産性を高めサービスの質の向上、職場の課題解決・改善に取り組んだ。

日中活動支援プログラムでは、ご利用者のニーズに合わせた様々なプログラムを毎日提供し、ご利用者の楽しみや喜び、やりがいを持てる活動の実践を行った。今年度は園芸に力を入れ参加するご利用者のいきいきした顔が見られる人気の活動となった。

居住支援事業の施設入所支援については生活向上、日中業務改善、安全対策委員を中心に課題改善を図りながら、標準化された質の高いサービス提供にむけた取り組みを行った。また、インカム・眠りスキャン・タブレット等での業務効率化の促進、データ収集等の機能の活用によりご利用者の情報共有やアセスメントも実施した。今後も生産性向上委員会と連携しながら業務負担の軽減・効率化を目指し、業務改善に向けた現場の課題について①共感をつくる②見える化する③解決策を考える④試してみる⑤振り返るの手順をチーム全体で取り組むことで新たな価値（当事者視点に立ったケアの充実のための生産性向上）をご利用者に届けていく。

ご利用者の利用状況は、令和8年3月末で50名満床であるが1名入院中である。今年度は5名の方の入れ替わりがあった。高齢による誤嚥性肺炎の再発入院や、精神面の安定を図るための薬の調整入院等ご利用者数名の入院も予測される状態であるため今後も早期発見、早期治療により重症化を防ぎながら施設生活が長く継続できるよう努めていく。また医療的ケアの必要性が高いご利用者も数名在籍しており状況に応じ施設生活の継続が厳しいと判断されることも予測されるため、通所、短期利用を含め新規ご利用者の開拓に向けて各関係機関と情報共有を行っていく。

職員配置状況については令和7年6月末に3名の職員が退職となった後、職員補充が行えず一時的（約3か月間）に入浴支援の変更（週3回から週2回へ）や職員の勤務時間の変更等、随時業務の見直しを行いながらご利用者へのサービス提供の確保を維持してきた。令和8年3月から3名の職員が採用となり新年度には3名の補充を予定している。職員配置が整備されることから来年度は業務内容を再編成しご利用者に適切で安全・安心な暮らしの提供はもちろんのこと、さらなる質の高いサービス向上・発展に向けて職員の育成に取り組んでいく。

日常生活支援

各委員会が研究テーマを設け、中・長期目標達成に向けて定期的に見直しを行いながら、ご利用者の生活の質の向上に努めるとともに安全・安心した生活が送れる活動を行った。また、各職種間連携を強化し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。

(※各委員会：日中活動、生活向上、日常業務改善、安全対策)

1. 相談・支援活動

ご利用者と信頼関係を築けるよう、ご利用者の心身の状況や置かれている環境などの把握に努め、ご利用者やご家族の相談に適切に応じ、必要な助言その他の支援を行ってきた。また、ご利用者や職員、他のご利用者などから情報を収集し、問題の原因を検討し、問題解決に努めた。

2. 個別支援計画の充実

ご利用者のニーズを捉えた個別支援計画を作成するために、アセスメントを行い、ご利用者の生活全体を把握し、生活をしていくうえで解決すべきニーズを明らかにしながら、ご利用者（必要に応じてご家族等）の要望に基づき、3ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行うとともに、支援方法にズレが生じないように努めた。

3. ライフサポート委員会

ご利用者のより安心・安全で快適な生活が送れるようライフサポート委員会が定期的な会議を開催し、ご利用者個々のニーズに沿った日常生活の充実が図れるように努めた。また、各委員会のリーダーが集まり情報交換を行うことで、委員会同士の連携を図った。

4. 懇談会

ご利用者がより安心し快適な生活を提供できるよう、月1回の利用者自治会懇談会、及び2ヶ月に1回の利用者懇談会を開催し、意見や要望に対し真摯に受け止め対応に努めた。自治会役員からは、他のご利用者からの意見や要望が時々提案された。その内容へも丁寧な対応に努めた。

5. 苦情解決

苦情窓口と処理のための第三者委員の役割を明確化し、ご利用者の苦情に対し誠実に速やかに対応できる体制の確保を行った。今年度は新型コロナウイルス感染症に対して第三者委員の方も考慮し訪問はなかった。ただし、ご利用者から訴えがあれば第三者委員へも報告できるように体制は維持している。

生活介護・施設入所支援（入所）

1. 市町村別入所者数一覧

令和8年3月31日現在（以下※）

	南 国 市	高 知 市	四 万 十 市	須 崎 市	仁 淀 川 町	津 野 町	佐 川 町	日 高 村	越 知 町	梶 原 町	中 土 佐 町	四 万 十 町	黒 潮 町	奈 半 利 町	大 月 町	合 計
男 性	1	—	2	1	1	3	1	—	2	1	3	1 2	2	1	2	3 2
女 性	—	2	1	—	—	—	1	1	2	1	—	9	1	—	—	1 8
計	1	2	3	1	1	3	2	1	4	2	3	2 1	3	1	2	5 0

2. 障害別一覧表

（※）

障害名	男性	女性	合計
脳性麻痺	8	4	1 2
頸椎・脊髄損傷	5	—	5
痙性麻痺	—	1	1
脳疾患による後遺症	6	4	1 0
頭部外傷後遺症	2	—	2
水頭症	1	—	1
筋ジストロフィー症	1	—	1
パーキンソン型認知症	1	—	1
脳炎	—	2	2
骨化性筋炎	—	1	1
アルツハイマー型認知症	1	1	2
知的障害	4	2	6
ダウン症	1	1	2
精神障害	1	1	2
指定難病	1	—	1
その他	—	1	1
合 計	3 2	1 8	5 0

3. 障害・療育手帳別一覧表

（※）

手帳類	男性	女性	合計
第1種1級	1 7	8	2 5
第1種2級	3	3	6
第1種3級	1	—	1

第2種2級	1	—	1
第2種3級	1	—	1
療育A1	3	—	3
療育A2	2	4	6
精神2級	2	2	4
手帳なし	1	2	3
合 計	3 2	1 8	5 0

4. 年齢別一覧表 (※)

年齢	男性	女性	合計
18歳～29歳	1	0	1
30歳～39歳	4	1	5
40歳～49歳	5	3	8
50歳～59歳	6	4	10
60歳～69歳	4	6	10
70歳～79歳	11	2	13
80歳 以上	1	2	3
合計	3 2	1 8	5 0

5. 平均年齢 (※)

	最少年齢	最高年齢	平均年齢	男女平均年齢
男 性	22歳5ヶ月	85歳0ヶ月	59歳2ヶ月	60歳4か月
女 性	35歳2ヶ月	95歳9ヶ月	62歳5ヵ月	

6. 障害程度区分 (※)

区分	男性	女性	合計
3	1	—	1
4	4	3	7
5	4	2	6
6	23	13	36
合 計	3 2	1 8	5 0

平均障害程度区分 5.54

7. 食費等徴収額

(※)

No.	食費等負担額 (円)	人数	No.	食費等負担額 (円)	人数
1	0	4	16	49,580	1
2	25,200	1	17	49,830	1
3	40,430	1	18	49,860	1
4	40,680	1	19	50,040	1
5	40,740	2	20	50,590	1
6	40,430	1	21	50,710	6
7	40,860	1	22	51,100	1
8	40,920	1	23	51,530	1
9	41,160	1	24	52,200	1
10	41,530	1	25	53,560	1
11	43,780	1	26	54,200	1
12	44,630	1	27	55,480	14
13	44,960	1	合計		50
14	47,610	1			
15	48,610	2			

8. 上限月額徴収額

(※)

No.	負担上限月額 (円)	人数
1	0	47
2	37,200	3
合 計		50

9. 月別入退所及び月末在籍者数

	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月		10 月	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
入 所	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—
退 所	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
在籍者数	30	20	30	19	30	20	30	20	30	19	30	20	30	19

	11 月		12 月		1 月		2 月		3 月		小計		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
入 所	1	—	—	—	—	—	—	—	2	—	3	2	5
退 所	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	1	4	5
在籍者数	31	19	31	19	31	19	30	18	32	18			

10. 月別利用実績

月別	延べ日数	外泊日数	入院日数	外泊等の合計
4月	1, 385日	9日	106日	115日
5月	1, 365日	20日	145日	165日
6月	1, 387日	11日	93日	104日
7月	1, 432日	19日	99日	118日
8月	1, 457日	13日	51日	64日
9月	1, 398日	9日	93日	102日
10月	1, 460日	9日	71日	80日
11月	1, 434日	10日	56日	66日
12月	1, 483日	11日	56日	67日
1月	1, 408日	22日	120日	142日
2月	1, 259日	5日	89日	94日
3月	1, 523日	7日	12日	19日
合 計	16, 991日	145日	991日	1, 136日

11. 月別利用者区分数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
区分4	6	6	7	7	7	7	7	8	8	8	7	7
区分5	6	6	6	6	6	7	7	7	6	6	7	6
区分6	38	37	37	37	36	36	35	35	36	36	34	36
合 計	50	49	50	50	49	50	49	50	50	50	48	50

12. 金銭管理状

(※)

	男性	女性	計
全 て 自 己 管 理	2	2	4
一 部 自 己 管 理	2	1	3
全 て 施 設 管 理	6	5	11
家 族 が 管 理	17	9	26
成 年 後 見 人	5	1	6
計	32	18	50

全て自己管理＝印鑑、通帳、現金等全て自分で管理している。

一部自己管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払は施設で行い、小遣程度の現金のみ自分で管理する。

全て施設管理＝通帳や印鑑、負担金等の支払、買い物等も施設が管理し行う。

家族等が管理＝年金は家族が管理を行い、日用品等の支払いは本人または施設が行う

生活介護（通所）

1. 利用実績

月 別	延べ日数	利用実人数	月 別	延べ日数	利用実人数
4月	60日	7人	11月	63日	8人
5月	64日	7人	12月	69日	8人
6月	56日	7人	1月	57日	8人
7月	64日	7人	2月	58日	8人
8月	56日	7人	3月	69日	8人
9月	67日	8人	合 計	745日	91人
10月	62日	8人			

※ 支給決定市町村：四万十町・中土佐町

前年度延べ日数 668日

2. 障害程度区分

(障害者)

(※)

区分	男性	女性	合計
2	—	—	0
3	4	—	4
4	—	1	1
5	1	—	1
6	1	1	2
合 計	6	2	8

平均障害程度区分 4.13

3. 月別利用者区分数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分2	8	9	8	10	8	8	6	8	8	8	8	8
区分3	19	20	12	15	12	17	16	15	18	15	16	17
区分4	0	0	6	8	6	6	4	5	7	4	7	7
区分5	22	22	21	19	4	9	9	8	9	4	5	8
区分6	11	13	9	12	26	27	27	27	27	26	22	29
合 計	60	64	56	64	56	67	62	63	69	57	58	69

短期入所

1. 利用実績

月 別	利用実人数	延べ日数	月 別	利用実人数	延べ日数
4月	10人	83日	11月	9人	95日
5月	9人	83日	12月	12人	81日
6月	8人	74日	1月	9人	66日
7月	9人	83日	2月	9人	64日
8月	9人	84日	3月	9人	77日
9月	8人	74日	合 計	110人	940日
10月	9人	76日			

※支給決定市町村：高知市・須崎市・佐川町・越知町・津野町・四万十町

前年度延べ日数 843日

2. 障害支援区分

(※)

区分	男性	女性	合計
1	—	—	0
2	2	—	2
3	4	1	5
4	4	2	6
5	4	—	4
6	2	1	3
児童	—	—	0
合 計	16	4	20

平均障害程度区分 4.00

3. 月別利用者区分数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
区分2	2	0	0	0	0	0	1	12	5	0	0	0
区分3	0	0	3	0	0	0	0	0	3	3	4	8
区分4	32	40	25	25	27	27	25	25	31	17	14	18
区分5	20	18	17	30	32	21	22	31	21	24	27	20
区分6	29	25	29	28	25	26	28	27	21	22	19	31
児童	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	83	83	74	83	84	74	76	95	81	66	64	77

主な行事等実施状況

1. 施設内行事

開催日	行事名	場所	実施回数	実施内容
令和 7 年 5 月 2 2 日 令和 7 年 1 1 月 2 5 日 令和 8 年 2 月 2 6 日	レストラン	屋内	3 回	レストランメニューの中から自由に注文し味わってもらう。
令和 7 年 7 月 1 3 日	オイコニア交流会	屋内	1 回	地域の方々を招き、ご利用者と職員との交流を深める。
令和 7 年 1 2 月 1 6 日	クリスマス・ 年忘れ会	屋内	1 回	ご利用者・職員ともに 1 年の無事を祝い、余興等行い楽しい一時を過ごす。
令和 8 年 1 月 1 9 日	新年会	屋内	1 回	新しい年の抱負を語り合い、余興などを楽しむ。
令和 7 年 3 月 2 8 日	お花見	屋内	1 回	季節を感じてもらおうと共に、ご家族とご利用者・職員との親睦を深める。

(施設外ショッピング)

ショッピングに行きたいとの要望には、毎週日曜日の買い物の日に提供するとともに、随時要望に応じて対応するよう努めた。ただし、高知県の新型コロナウイルス感染症対策目安の警戒以上になった場合は中止していた。なお、外出時には、アルコール消毒やマスク着用をし、感染予防を徹底した。

(注文買物)

本人からの要望や外出が困難なご利用者に対しては、日曜日に自治会で注文を受け付け、職員が代わって買物を行った。また移動スーパー（とくし丸）も利用し買い物支援を行った。

(園内喫茶)

「お菓子の日」として、月 2 回オイコニアの職員対応でケーキと飲み物の販売を行った。

(整 容)

毎月、外部の美容院と理髪店に依頼し、カットや髪染め・パーマなどの施術を園内で行った。

2. 行事について

実施月	行き先等	人数	実施日	行き先等	人数
4月	ピクニック ドライブ（3回） いちご狩り	2人 8人 2人	10月	ショッピング （高知市2回） 外食（町外） 日帰り旅行（高知市） ピクニック 外食（町外）	8人 2人 2人 4人 4人
5月	ドライブ いちご狩り わんぱーく高知	2人 3人 4人	11月	外食（町内） ショッピング（高知市） ショッピング（須崎市）	3人 2人 2人
6月	スポーツ大会（高知市） 外食（町内） 四万十ふれあい動物園 外食（町外）	5人 2人 3人 4人	12月	外食（町外） ときめきクリスマス 餅つき	2人 6人 —
7月	四万十ふれあい動物園 （2回） 外食（町内2回）	4人 6人	1月	カラオケ大会 初詣 ショッピング（高知市）	— 7人 2人
8月	ショッピング （高知市2回） 外食（町内3回）	6人 8人	2月	豆まき 外食（町内2回） ショッピング（高知市）	— 8人 2人
9月	外食（町内） 足摺水族館 四万十ふれあい動物園 運動会	3人 4人 4人 —	3月	ボッチャ交流会 （仁井田小学校） ショッピング（須崎市） ボッチャ大会 ショッピング（高知市） 外食（町内）	— 2人 — 3人 3人

<外出について>

(※)

	男性	女性	合計
自己決定で単独外出している	2	0	2
自己決定で付き添って外出している	26	14	40
外出について意思表示が困難	4	4	8
計	32	18	50

※自己決定の困難な（意思表示の困難）ご利用者については職員が適宜、外出の機会を作り出来るだけ施設外に出て余暇を楽しめるように努めている。

3. 防災訓練

実施日	参加者	内 容
5月7日	入所者：42名 通所者：1名 短期：1名 職員：16名 計60名	総雨量が500mmを超えており、第2駐車場が川の増水により冠水している状態を予測して昼間想定にて風水害・土砂災害避難訓練を行った。
6月20日	入所者：39名 通所者：0名 短期：2名 職員：13名 計54名	昼間に厨房から火災が発生したと想定し、通報・消火・避難の訓練を行った。
9月24日	入所者：43名 通所者：1名 短期：0名 職員：14名 計67名	昼間に震度6強の地震が発生し、厨房より火災が発生したと想定し、通報・消火・避難の訓練を行った。
11月27日	入所者：42名 通所者：5名 短期：2名 職員：12名 計61名	夜間に震度6強の地震が発生したと想定し、避難・誘導の訓練を行った。
1月29日	入所者：44名 通所者：6名 短期：1名 職員：12名 計62名	昼間に震度6強の地震が発生したと想定し、避難・誘導の訓練を行った。
3月25日	入所者：43名 通所者：1名 短期：1名 職員：15名 計60名	夜間に震度6強の地震が発生し、厨房より火災が発生したと想定し、通報・消火・避難の方法の検討を机上訓練にて行った。

食生活支援の状況

3食カフェテリア方式での選択食の提供を実施した。近年、継続しているすべての食材の高騰は収まらず食生活支援に大きな影響を及ぼしている。献立作成においては高価な食材の使用回数を抑え、日々の選択食の組み合わせにおいて人気メニューをうまく取り入れることでご利用者に喜んでもらえる献立作成の工夫を実施しご利用者には概ね満足する食事の提供をすることができた。

給食食材管理においては昨年同様、年間通して細密な食材管理が求められコストを抑えた献立の工夫が必要となった。調味料等においては安価なものに変更する等、予算内に収まるよう努力した。来年度以降も多くの食品で順次価格見直しの予定があるため、今年度同様、食材の選定、献立の見直しが必要となる。

1. 食生活の状況

食事摂取基準に基づいた献立の作成を実施した。加齢や障害の重度化による個々の特性に合わせた食事形態の提供（ミキサー食、ソフト食、きざみ食など）や医師指示のもと治療食も実施しており、多職種と連携した支援を行うことで重症化を防ぐよう努めた。

2. 栄養ケアマネジメント

ご利用者個々の栄養健康状態やニーズに合わせた栄養ケア計画の作成、見直しを行った。ご利用者、職員ともに支援計画と合わせてモニタリングすることで個々の健康状態や課題を総合的にみることができた。

3. ニーズの反映

月1回の利用者食生活検討会や嗜好アンケート調査（年1回）、残渣調査（計量）の結果、また日常的にご利用者とコミュニケーションを多くとるよう心がけ、ご利用者の嗜好の把握に努めた。また、意見・要望には出来るだけ早く応えるよう努力した。

4. 委託業者との連携

朝礼や申し送り、依頼文書等によりご利用者への対応方法や実施献立の説明と実施後の反省と改善等細かな連絡、指導を実施し委託業者との連携を図った。月に一度、運営会議にて各事業所代表参加で給食内容や委託業者への課題や要望等について「給食関係会議」を実施している。また、温度管理や食材搬入表などにより食材のより良い鮮度・品質の確保に努めた。マニュアルに基づいた衛生管理の実施、老朽化する調理設備・器具の点検等を行いご利用者に安全で喜ばれる食事の提供に努めた。

委託業者に対しては引き続き、食品の取り扱いや職員の体調管理、感染予防について徹底するよう依頼している。

5. 行事食

・レストラン（年3回実施）

担当職員とテーマを決め、テーマに合わせた献立5種類を準備し、レストランを開店している。日常の食事には提供の少ないメニューと装飾・衣装・BGMなど趣向を凝らし、毎回ご利用者からは好評の声をいただいている。

【今年度のテーマ】

5月 イタリアの休日

（主なメニュー）ピザセット・ペスカトーレ・ボロネーゼ

カルボナーラ・ミラノ風カツレツ

11月 昭和レトロ「スナック オイコニア」

（主なメニュー）ナポリタン・オムライス・卵サンド

ホットケーキ・昼のみセット（ビール・おつまみ）

3月 海産物祭り

（主なメニュー）たたき定食・塩さば定食・天井

海鮮丼・かにちらし寿司丼

・今年度の主な行事食

4月 開設記念祝い御膳

7月 交流会（屋台）

12月 クリスマス年忘れ会（個人膳・皿鉢・焼肉・クリスマスケーキなど）

1月 おせち料理・新年会（個人膳・にぎり寿司など）

3月 お花見弁当

その他 パンバイキング・土用の丑の日・クリスマス献立等

＊その他、祭日や四季折々にあわせた行事食を提供し、食生活に変化と潤いを与えるよう努めた。

日常生活活動に対するリハビリの状況

ご利用者一人ひとりの性格や疾患の特性、ご利用者とご家族の要望を把握したうえで、身体機能や精神機能、認知機能、日常生活状況などの評価を行い、評価に基づきニーズを導き出した。

車椅子や装具については、身体機能、生活状況等の評価を行い、生活状況を考慮した上で評価用紙を作成、各個人に合ったものを検討し適合を行った。また、精神障害・発達障害を伴うご利用者の疾患特性に合わせた、アプローチや環境設定を実施した。

1. 残存機能の維持と改善・廃用症候群の予防・生活行為を向上するためのマネジメント

身体機能維持、生活動作の維持・改善を目的に、必要な機能訓練を実施した。身体状況の変化に合わせてリハビリ内容を検討し、必要に応じて変更を行った。生活動作に関しては、ご利用者からの訴えや他職種からの情報、日々の身体状況を元に生活場面へ介入した。実際の生活場面での評価から動作訓練を行うとともに、自助具等の検討や工夫を行った。また、実際場面での伝達を行い他職種との連携を図りながら、ご利用者一人ひとりに合った福祉用具を検討し導入している。

2. 社会生活意欲の向上

集団生活を送る上で他ご利用者とトラブルとなることが多いご利用者に対して、トラブルを予防し集団という社会の中でその人らしく暮らしていくことを目的に、視覚的に指示が分かりやすいような環境設定をしたり、行動のルーティーンを置き換えるための方法を検討する等のアプローチを行った。

3. 意欲的活動性の向上

ご利用者の興味・関心ある活動を実施することで、楽しみや自己有能感を感じてもらうことを目的に、ニーズの聞き取りを行いながら各個人に合わせた活動を提供した。集団作業療法では、難易度や活動内容を工夫しながら、幅広い年齢、疾患に対応できるような活動を実施した。

4. 車椅子・自助具等福祉用具の提案作成

車椅子に関しては、必要な場合には業者に相談し、本人の身体状況や生活状況に合わせたオーダーメイドのものを作成した。日常生活で使用する自助具は、本人や他職種から依頼があった際や必要と判断した際に作成、修繕を行った。新規購入時などには、修繕、再度購入することなども考慮して本人や職員が管理し続けやすいものを提案した。

5. リハビリ実施状況

今年度リハビリの対象として行ったご利用者の数は、入所者50名、通所者8名、短期入所者2名（加算外）である。実施頻度について入所者は週1～3回、自主トレーニング可能な方は週1～5回実施しており、通所の方については利用日に実施している。1日に実施している人数は合計12～38名、平均19.2名である。

健康管理の状況

加齢による身体機能の低下が顕著であることから、ご利用者の日々の健康状態の把握に努め、疾病の早期発見と治療、予防へと他職種と連携をしながら取り組みを行った。しかし、入院の半数以上が誤嚥性肺炎であり、今後も増加する見込みである。また、精神疾患から治療に長期入院を要すご利用者も増え、入院状況は前年度より402日増える結果となった。病院受診は定期受診が主であるが、救急搬送等では高知市内への医療機関への搬送が増えてきている。

新型コロナウイルスやインフルエンザの感染症の発症はあったが、マニュアルを見直したこともあり、感染が拡大することはなかった。

1. 取り組み

実 施 月	内 容
4 月	ご利用者健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血）
5 月	職員健康診断の実施（胸部レントゲン・検尿・採血）
6～9月	食中毒の予防
10月	ご利用者の健康診断の実施（検尿・採血）
11月	職員健康診断の実施
11月	職員季節型・新型インフルエンザ予防接種（嘱託医により実施）
12月	職員・ご利用者希望者新型コロナワクチン（嘱託医により実施）
11～3月	ご利用者・職員のインフルエンザ・ノロウイルス等感染症の予防
4～3月	コロナウイルス等感染症予防 歯科医による往診にてご利用者の口腔衛生について1回／月の指導 嘱託医師にて1回／週（火）に定期回診

2. 通院状況

通院科目	実人数	延べ回数	通院科目	実人数	延べ回数
歯 科	33人	72回	外 科	2人	11回
内 科	16人	42回	脳 神 経 外 科	6人	12回
泌 尿 器 科	4人	32回	神 経 内 科	4人	16回
整 形 外 科	6人	39回	精 神 科	8人	66回
皮 膚 科	19人	34回	眼 科	2人	2回
婦 人 科	1人	2回	総 合 診 療 科	－ 人	－ 回
耳 鼻 科	3人	10回	胃 瘻 交 換	2人	4回
乳 腺 外 来 科	－ 人	－ 回	合 計	106人	342回

3. 入院状況

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
内 科	6人	13人	382日
外 科	－ 人	－ 人	－ 日
脳 外 科	1人	1人	157日
泌 尿 器 科	4人	4人	188日
精 神 科	3人	4人	264日
呼 吸 器 内 科	－ 人	－ 人	－ 日
神 経 内 科	－ 人	－ 人	－ 日
合 計	14人	22人	991日

4. 特別な医療行為者数

(※)

区 分		人 数
気 管 切 開 の 処 置		2人
経 管 栄 養	経 鼻	5人
	胃 ろ う	2人
バルンカテーテル		9人
消 化 管 ス ト ー マ		1人
腎 瘻 カ テ ー テ ル		1人
合計（重複者あり）		20人

事業所研修

研修内容	開催日	内 容
経営理念・経営方針 についての研修	5月21日	明成会の経営理念と経営方針の理解と浸透を図るために、 ディスカッションを行った。
介護技術研修	6月18日	福祉用具の使い方や体位変換の基本について実践的訓練 を行い、理解を深めた
B C P 訓練（災害・ 感染）	7月16日	事業継続計画（BCP）に基づき、マニュアルの見直し・確認 を行い、危機の保管場所・防災倉庫の確認を行った。
リフレッシュ	9月18日	レクレーション等を通じて職員間の交流を深めるととも に、職員個々の気分転換を図った。
感染症	10月16日	ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症などの対応、 集団感染防止にむけた意識づけを行った。防護服の着脱の 実践を行った。
夜間緊急対応	11月5日	夜間の緊急対応の実践を行い、マニュアルの徹底と見直し を行った。
虐待防止・身体拘束	1月14日	障害者の人権や虐待について理解を深め、虐待や身体拘束 の予防につなげるとともに、ご利用者個々の自立への取り 組みについてディスカッションを行った。
福祉避難所運営訓練	3月17日	福祉避難所開設・運営マニュアルに基づく福祉避難所の設 置運営訓練を行った。

《グループホーム笑和》（共同生活援助）

地域で自立した日常生活及び社会生活を営むことができるように、相談支援事業所や就労支援事業所等の各関係機関と連携を図り、ご利用者の希望に沿ったサービス提供に努めた。また、ご利用者のニーズに応じた支援ができるよう6ヶ月に1回の定期的な支援計画の策定・見直しを行い、支援方法にズレが生じないように心がけた。

ご利用者の状況については、昨年度末より頭重感や焦燥感、イライラするとの精神的不調を訴えていた男性ご利用者がうつ状態と診断をされ、約3ヶ月の入院となった。退院後も精神的な不調の訴えは継続しているものの各関係機関との連携しながら対応をしている状況である。また、一般就労にむけて動いていたご利用者は、就職先が町外であれば退所するとの意向であったが、体力面での限界を感じ一般就労は断念をしたことで現状を維持していくこととなった。その他のご利用者については、季節の変わり目や不安なことがあると不穏な行動が見られたりするものの相談支援専門員等と連携をしながら対応をすることとで落ち着いた状態での生活が維持できている。

2月に県の運営指導があり、指導事項として常勤換算等の際の勤務延べ時間に算入可能な時間数は、常勤の従業者が勤務すべき勤務時間が上限となるため、別施設で常勤として勤務し、すべての時間を算入している場合は、当該事業所での勤務時間を算入することができないとのことから人員配置体制加算（Ⅱ）の要件を満たさない期間が存在するとの指導により、8月から12月までの期間の過誤請求を行い、別施設からの派遣職員の勤務体制について調整をし、改善を図った。また、口頭助言として、重要事項説明書に訓練等給付費対象外の料金で徴収しているコピー代等の記載や、BCP（感染症）訓練の実技内容の記録、風水害時の避難経路を事業所内へ掲示するようにとの指摘もあり、対応可能なものについては見直しを行った。

開設9年目となり外灯や乾燥機等が故障するなど設備や備品に不具合が生じているような状況となっている。

1 事業内容

- (1) 日常生活の支援
- (2) 社会生活の支援
- (3) 医療的支援
- (4) 日中活動支援
- (5) 社会生活の支援
- (6) 個別支援計画の作成

2 行事内容等

	行事名
4月	誕生日会、クッキング（ホットドック）、創作活動（母の日）
5月	クッキング（焼き肉）、創作活動（父の日）
6月	クッキング（オムライス）、創作活動（海開き）
7月	クッキング（ホットケーキ）、創作活動（キャンプ）
8月	ショッピング（ドン・キホーテ）クッキング（たこ焼き）、創作活動（敬老の日）

9月	外食（古梵）、創作活動（紅葉狩り）
10月	クッキング（肉うどん・大学芋）、誕生日会、創作活動（コスモス）
11月	ショッピング（四万十ショッピングガーデン）、クッキング（お好み焼き）、誕生日会、創作活動（クリスマス）
12月	クッキング（焼きそば）、クリスマス会、創作活動（お正月）
1月	初詣、クッキング（焼肉）、創作活動（バレンタイン）
2月	クッキング（焼うどん）、誕生日会、創作活動（ひな祭り）
3月	クッキング（餃子）、誕生日会、創作活動（さくら）

3 防災訓練

実施日	内 容
4月24日	昼間に漏電により居室より出火したと想定し、避難誘導を行う
5月28日	昼間の地震を想定し、避難誘導を行う
6月30日	朝より激しい雨が降り続き昼間に土砂災害警戒警報が発令をされたと想定し、避難指定場所までの避難誘導を行う
7月24日	夜間に漏電によりキッチンからの出火を想定し、机上での訓練を行う
8月22日	夜間の地震を想定し、避難誘導を行う
9月29日	朝より激しい雨が降り続き昼間に土砂災害警戒警報が発令をされたと想定し、避難指定場所までの避難誘導を行う
10月23日	昼間に厨房設備の故障から出火したと想定し、机上での避難及び消火器を使った消火訓練を行う
11月27日	昼間の地震を想定し、避難誘導を行う
12月22日	夜間にタバコの不始末によりテラスから出火したと想定し、避難誘導を行う
1月28日	朝より激しい雨が降り続いたことで夜間に土砂災害警戒警報が発令をされたと想定し、避難指定場所までの避難誘導を行う
2月19日	朝より激しい雨が降り続き昼間に土砂災害警戒警報が発令をされたと想定し、避難指定場所までの避難誘導を行う

4 市町村別入所者数（令和8年3月31日現在）

	男性	女性	合計
四 万 十 町	3	4	7
中 土 佐 町	1	1	2
合 計	4	5	9

5 年齢別入所者数（令和8年3月31日現在）

	男性	女性	合計
20歳～29歳	-	2	2
30歳～39歳	-	1	1
40歳～49歳	-	-	-
50歳～59歳	2	-	2
60歳～64歳	-	-	-
65歳以上	2	2	4
合 計	4	5	9

	男性	女性
最 小 年 齢	55歳5ヶ月	24歳5ヶ月
最 高 年 齢	68歳1ヶ月	67歳4ヶ月
平 均	62歳8ヶ月	43歳6ヶ月
男 女 平 均	52歳	

6 障害支援区分別利用実績集計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
非該当	60	62	60	41	31	30	57	60	61	59	56	62	639
区分1	30	31	30	31	31	30	31	30	30	31	28	31	364
区分2	89	90	89	91	85	88	91	88	85	88	82	89	1,055
区分3	58	57	58	60	51	54	50	56	55	54	54	54	661
区分4	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
区分5～6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
延人数	267	271	267	254	229	232	260	264	262	263	248	267	3,084

7 入院状況

入院科目	実人員	延人数	延べ日数
精 神 科	1	1	94
整 形 外 科	1	1	1
合 計	2	2	95

8 外泊状況

	実人員	延人数	延べ日数
4月	2	3	3
5月	2	3	8
6月	2	3	3
7月	2	2	4
8月	4	5	19
9月	2	3	8
10月	2	2	14
11月	2	3	6
12月	5	5	16
1月	5	6	16
2月	2	2	4
3月	2	4	12
合 計	32	41	113

《相談支援事業所 わらわ》

今年度も各支給決定機関や各事業所と連携しながら、主に町内で在宅生活をされている方の計画相談支援や地域生活支援事業における相談支援などに取り組んだ。

令和8年3月末現在、計画相談で受けている方は99名（児童3名を含む）で、四万十町から委託されている地域生活支援事業は19名である。意思決定支援を意識し、よりご利用者の思いに寄り添うと共に選択できる工夫を行い、本人の選択した生活のコーディネートができるように、周りの支援者とも協力しながら支援を行ってきた。

令和7年11月1日より、しまんと町社協相談支援事業所と一体的管理運営のための協定書を締結したことで、機能強化加算（Ⅱ）の取得可能となり登録者数は減少したものの予算を上回る収入へとつながった。さらに、しまんと町社協相談支援事業所と共同したことで、日頃からの連絡や会議等を通じ、ご利用者に関する情報やサービス提供に関する留意事項の伝達等ができるようになり支援の質の向上を図ることができた。引き続き、自立支援協議会やケース共有会、高幡相談支援連絡会へも参加し、課題の検討や情報の共有を行った。

災害時避難行動要支援対策として四万十町からの依頼により、災害時避難行動要支援者登録台帳申請書兼避難行動要支援者個別計画書の作成と更新を行った。

1 事業内容

- ① 指定特定相談支援事業（計画作成）
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ② 指定一般相談支援（地域移行・定着）
 - ・ 地域移行支援
 - ・ 地域定着支援
- ③ 障害児相談支援事業
 - ・ サービス利用支援・障害児支援利用援助
 - ・ 継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助
- ④ 四万十町相談支援事業
 - ・ 福祉サービスの利用の援助
 - ・ 社会生活力を高めるための支援
 - ・ 専門機関の紹介
 - ・ 調整会議等への参加
 - ・ 社会資源を活用するための支援
 - ・ 権利擁護のために必要な援助
 - ・ その他の生活相談に対する助言・指導
- ⑤ 災害時避難行動要支援対策
 - ・ 災害時避難行動要支援者登録台帳申請書兼避難行動要支援者個別計画書の作成
 - ・ 訪問等の機会を利用して、定期的な状況確認及び個別計画の更新
 - ・ ご利用者が参加する避難訓練及び調査等への支援活動に参加
 - ・ 避難情報等災害に関する情報の伝達等の支援
 - ・ 避難時における必要な支援

2 相談受理件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
指定一般相談	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指定特定相談	26	18	19	18	20	23	12	29	19	21	19	16	240
障害児相談	2	1	3	2	1	1	1	2	2	1	-	-	16
四万十町相談	5	7	5	5	7	6	8	6	6	7	7	8	77

3 計画相談サービス利用状況

福祉サービス等	件数
施設入所支援	57
生活介護	60
短期入所支援	7
療養介護	1
共同生活援助	9
居宅介護（家事援助）	3
生活支援（地域活動支援センターとの連携）	3
生活支援住宅	1
意思疎通支援事業	1
日常生活支援事業	2
就労支援（就業・生活支援センターとの連携）	1
就労継続支援B型	34
その他（受診時同行支援・訪問看護等）	19
児童発達支援事業	1
放課後等デイサービス	1
保育所等訪問支援	1
合 計 件 数	201

事業所研修【グループホーム笑和・相談支援事業所わらわ】

研修内容	開催日	内 容
身体拘束	5月22日	ご利用者の権利を害することがないように身体拘束防止と留意点について学び理解を深める
経営理念	6月19日	明成会の理念等について理解と浸透を図る
リスクマネジメント	8月21日	リスクマネジメントについて知識を身に付け、事故を回避するための支援を養い事故防止につなげる
感染症	11月27日	ノロウイルスや新型コロナウイルスなど感染症への対応について、BCPも含めて集団感染防止にむけた意識づけを図る
虐待防止	12月18日	虐待について自己決定支援の観点から理解を深め、虐待防止につなげる
権利擁護	1月15日	ご利用者の権利擁護にむけてプライバシー保護や個人情報保護等に理解を深める
BCP訓練	3月19日	事業計画に基づき実践訓練（炊き出し）の実施

【介護保険法による指定居宅サービス事業】

《デイサービスセンター緑林荘》（通所介護及び総合事業通所介護施設）

2事業所のサービス提供事業所の閉鎖に伴い、事業所変更にて年間を通して利用者の受け入れを行った。2月初旬には待機待ちになっていた利用者の受け入れもすべて完了することができた。年間を通して受け入れを行ったことで、空き枠が出ることなく安定した経営ができた。

生産性向上業務改善として、長年手書きで行っていた連絡帳を介護ソフトの連絡帳に変更を行った。用紙がB5サイズとなり少し大きくなったが、「とても見やすくなった」「わかりやすくなった」と家族から評価の声をいただいた。また、職員の記入時間の削減にもつながり、ホールでの利用者とのかかわりの時間も増えた。

また、議事録作成を、ICTを活用したソフトウェアで作成を試みた。こちらは、課題が多く修正箇所や使用にあたってのルールづくり等検討が必要であり、引き続き令和8年度へ持ち越して取り組むようになった。

今後も、課題への取り組みや意見・要望等への対応に努める。

<総合事業通所介護事業>

支援事業所には毎月サービス実施状況の報告を行いながらサービスの提供に努めている。

運動器機能向上加算は取得していないが、百歳体操を中心に運動を行い、ゴムを使った体操や帰りの時間前には柔軟体操を行い下肢筋力の低下予防に努めた。また、認知症予防にも努め様々な脳トレーニングも引き続き行っている。

全体的には高齢の方が多く現状維持を保つことが精いっぱいの状態であるが、引き続き運動機能向上と認知症予防の強化に努める。

1 事業内容

介護保険にかかる通所介護及び四万十町総合事業通所介護事業

2 活動内容

(1) 主な行事

	行 事 名
4月4日	お花見弁当
8月7日	五社大祭 夏祭り参加
9月8日	丸山地区自主防災訓練
9月15日～19日	敬老週間
12月24日	クリスマス会
12月26日	餅つき
12月26日～27日	忘年会
12月27日	風水害避難訓練
1月5日	新年会
2月3日	節分（豆まき）
1月30日	避難訓練(昼間地震火災想定：自主訓練)
3月28日	避難訓練(昼間地震火災想定：消防立ち合い)

(2) 機能訓練とレクリエーション

今年度も、月間予定表を作成し、午前中のレクリエーションは、レク内容の偏りがないように参加ご利用者の方が楽しめる提供を行った。壁画週間も継続して季節に沿った壁画をご利用者の意見をくみ取り実施し、月間雑誌レクリエへ投稿を行った。運動を目的とした歩行訓練には、多くのご利用者が自主的に参加し、継続して行うことができた。百歳体操やゴムを使った体操にも多くの方が積極的に参加し機能向上を図る支援に努めている。

(3) 余暇・創作活動

ご利用者が自己選択し、それぞれのスタイルで、趣味的な活動を継続して行えた。縫い物（雑巾作り）、壁画作り、編み物、カレンダー作成など幅広く活動を行っている。また、脳トレーニングやリズムを取り入れた手遊びなど毎回提供を行い、脳の活性化に努めている。

3 年齢別登録者数集計表

令和8年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	—	—	—
6 5 歳 ～ 6 9 歳	—	—	—
7 0 歳 ～ 7 4 歳	—	—	—
7 5 歳 ～ 7 9 歳	4	1	5
8 0 歳 ～ 8 4 歳	2	7	9
8 5 歳 ～ 8 9 歳	4	9	1 3
9 0 歳 ～ 9 4 歳	3	1 9	2 2
9 5 歳 ～ 9 9 歳	3	1 9	2 2
1 0 0 歳 以 上	1	3	4
合 計	1 7	5 8	7 5

※ 最高齢は101歳の女性

	男 性	女 性	合 計
平均年齢 (令和8年3月31日現在)	8 9.8 歳	9 1. 9 歳	9 1.4 歳
最 高 齢 (令和8年3月31日現在)	1 0 0 歳	1 0 1 歳	

4 要介護別利用実績集計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開 所 日 数	26	27	25	27	26	26	27	25	27	24	24	26	310
1 日平均利用者数	24.5	24.8	27.5	27.1	27.0	26.7	28.7	27.2	25.8	23.3	27.2	27.4	26.4
事 業 対 象	40	40	36	38	29	26	31	20	21	11	12	11	315
要 支 援 1	23	20	22	16	16	14	10	12	13	11	12	12	181
要 支 援 2	43	46	46	53	32	33	36	27	24	21	43	42	446
要 介 護 1	281	283	281	306	345	332	357	325	304	284	345	377	3,820
要 介 護 2	212	234	243	246	206	206	242	190	215	133	127	154	2,408
要 介 護 3	21	18	19	23	28	34	36	31	34	21	28	41	334
要 介 護 4	13	25	24	33	30	31	41	33	35	37	42	36	380
要 介 護 5	6	6	17	19	18	19	22	44	51	43	45	40	330
延べ利用者数	639	672	688	734	704	695	775	682	697	561	654	713	8,214

(令和6年度 延べ利用者数 7,448名)

《居宅介護支援事業所 りょくりん》

6月から介護支援専門員を1名採用し3名体制となったため、研修体制などを整備し7月からは特定事業所加算（Ⅲ）の算定が可能となった。新規相談も続いており、前年度より大幅な増収となっている。ケアマネ連絡会や各種外部研修への参加に加え、週に1回事業所内研修を行い、事例検討や他の事業所のケアマネとの合同研修、福祉用具業者との勉強会などを実施しスキルアップを図ってきた。

四万十町の動向として、町内の居宅介護支援事業所1事業所が、昨年3月末で事業を廃止したため、4月から10名のご利用者を引き継いだ。6月にはデイサービス1事業所が営業を廃止し、さらに老人保健施設が2月末に1事業所、3月末に1事業所閉所となり、町内の選択できるサービスが減少している。社会資源が限られてきている中、家族全体の支援が必要なケースや虐待事例など困難事例は多く、今後も包括支援センターや健康福祉課など関係機関と協力しながら様々な事例に対して、ご本人やご家族の望む暮らしを汲み取った計画が作成できるよう努めている。

1 事業内容

- （1）ケアプランの作成
- （2）要介護認定の申請、及び更新申請の代行
- （3）予防給付のケアプラン作成（四万十町からの委託）

2 要介護度別担当利用者数（国保連請求件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援1	2	2	2	2	2	5	5	5	5	5	5	5	45
要支援2	12	8	8	9	9	9	8	9	9	8	8	9	106
要介護1	34	34	35	36	42	41	43	48	47	48	44	39	491
要介護2	29	31	32	32	28	29	31	28	29	27	28	34	358
要介護3	6	10	9	11	11	10	16	14	14	12	12	14	139
要介護4	7	7	5	7	7	7	4	5	6	10	8	7	80
要介護5	2	2	3	2	2	2	2	3	4	3	3	3	31
合計件数	93	95	95	100	102	104	110	113	115	114	109	112	1,262
新規利用	13	2	4	6	10	7	9	10	5	6	5	4	81

* 新規利用者は、要介護から要支援、要支援から要介護への変更を含む、初回加算の算定人数

《デイサービスセンターさくら貝》（通所介護及び介護予防通所介護施設）

利用者減少に伴い、日曜日と木曜日を定休日として週5日営業を行った。4月は、一日平均4.5人とかなり厳しい運営でしたが、8月から男性の利用者が増え3月末では、6.1人となった。登録利用者数は、男性6名 女性12名の合計18名となっている。

また、例年との違いとしては、長期入院や施設入所等の利用者が少なかったことも収益が伸びた要因であった。

日中活動としては、隣接する保育所の園児と一緒に園芸活動を行った。収穫した野菜は利用者の方の楽しみであるクッキングで活用し、季節感を感じられるメニューやおやつ作りを行った。このように、保育所とも定期的に行事や避難訓練を通じて交流を図り、地域とのつながりを深めることができた。

通所介護計画については、ご利用者の状態を把握し定期的な見直しを行い、一人ひとりにあったケアプランを作成の上、サービスの提供に努めた。

1 事業内容

- (1) 介護保険にかかる通所介護事業密着
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業

2 活動内容

(1) 主な行事

	行 事 名
4 月	お花見弁当 読み聞かせ(移動図書館)
5 月	保育園こいのぼり運動会見学 クッキング 読み聞かせ(移動図書館)
6 月	保育園合同避難訓練 クッキング 読み聞かせ(移動図書館)
7 月	クッキング 読み聞かせ(移動図書館)
8 月	保育園合同夏祭り クッキング 読み聞かせ(移動図書館)
9 月	保育園合同敬老お楽しみ会 クッキング 読み聞かせ(移動図書館)
10 月	保育園秋の運動会 クッキング 読み聞かせ(移動図書館)
11 月	保育園合同避難訓練 クッキング 読み聞かせ(移動図書館)
12 月	保育園クリスマス交流 忘年会2回 もちつき クッキング 読み聞かせ(移動図書館)
1 月	新年会 読み聞かせ(移動図書館)
2 月	豆まき クッキング 読み聞かせ(移動図書館)
3 月	保育園お別れ クッキング 読み聞かせ(移動図書館)

(その他)

- * 誕生日に写真つきカードをプレゼント
- * 敬老の日に、記念品をプレゼント

(2) レクリエーション

ご利用者の心身の状態などにあわせ、レクリエーションを実施した。主に午前にはスポーツレクを中心に、午後には脳トレプリントや塗り絵、壁画制作、手先を使う作業など、個

人個人に合わせて提供した。夕方には頭の体操を実施した。また、下肢筋力低下を予防するため、下肢筋力運動や百歳体操、ラジオ体操、ストレッチ体操など実施した。

(3) 保育所との交流

保育園合同職員会（5月12日）

行事見学（5月24日 9月10日 10月18日 12月19日）

交流会（10月20日 10月31日 12月11日 3月20日）

合同避難訓練（6月29日 11月28日）

餅つき（12月31日）

保育園卒園プレゼント贈呈（3月20日）

(4) 地域との連携

興津地区自主防災組織総会（7月17日）

興津防災訓練（8月31日 11月29日）

(5) 運営推進会議の開催

	開催日	参加委員他
第1回	10月21日（火）	外部5名、職員4名
第2回	3月10日（火）	外部4名、職員3名

3 年齢別登録者数集計表

令和8年3月31日現在

	男 性	女 性	合 計
6 4 歳 以 下	—	—	—
6 5 歳 ～ 6 9 歳	—	—	—
7 0 歳 ～ 7 4 歳	—	—	—
7 5 歳 ～ 7 9 歳	2	2	4
8 0 歳 ～ 8 4 歳	—	3	3
8 5 歳 ～ 8 9 歳	2	3	5
9 0 歳 ～ 9 4 歳	2	3	5
9 5 歳 ～ 9 9 歳	—	1	1
1 0 0 歳 以 上	—	—	—
合 計	6	12	18

※ 最高齢は95歳の女性（要支援2）

	男 性	女 性	合 計
平均年齢（令和8年3月31日現在）	86.2歳	86.7歳	86.6歳

4 要介護別利用実績集計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	22	22	21	22	22	22	22	21	23	20	20	22	259
1日平均利用者数	4.5	5.6	5.6	5.3	6.0	5.9	6.3	6.5	7.0	7.2	6.8	6.5	6.1
事業対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	—
要支援1	-	-	-	-	9	8	10	8	9	8	8	4	64
要支援2	38	44	41	42	39	39	37	33	38	30	27	26	434
要介護度1	9	9	8	6	12	4	4	5	4	4	4	4	73
要介護度2	17	31	31	32	32	43	44	43	44	41	42	39	439
要介護度3	36	41	38	38	41	37	45	49	53	47	46	58	529
要介護度4	-	-	-	-	-	-	-	-	13	15	10	12	50
要介護度5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
延べ利用者数	100	125	118	118	133	131	140	138	161	145	137	143	1,589

(令和6年度 延べ利用者数 1,888名)

合同事業所研修【デイサービスセンター緑林荘・さくら貝 居宅介護支援事業所りょくりん】

研修内容	開催日	内 容
事業計画について	4月11日	本年度事業計画の確認を行い、周知する。
認知症ケア研修	5月23日	疾患別の認知症ケアに関する知識を習得し、早期発見・進行予防に取り組み、専門性の高いケアの提供を目指す。
感染症研修	6月13日	ノロウイルスやインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症対策や食中毒への対応、まん延防止策、について理解を深める。感染症 BCP 研修
ヒヤリ・ハット事故事例検討	7月30日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
介護保険制度研修	8月15日	介護保険制度について理解する
人権権利擁護虐待防止研修	9月29日	倫理及び法令遵守・高齢者虐待・プライバシー保護個人情報保護について理解をする
福祉避難所開設訓練	10月22日	福祉避難所開設訓練・備蓄品リスト確認（役場立ち合い）
食事支援研修	11月26日	高齢者の食事の理解と個々の食事携帯の対応について周知する。
災害時(BCP)研修	12月27日	風水害・土砂災害時対応訓練（机上訓練） BCP 訓練研修
介護技術研修 (排泄・入浴)	1月31日	腰痛予防に努め、介護技術の基本動作について、実践研修を行う。高齢者の排泄・入浴方法の検討をおこない、ご利用者と職員が共に安心できる支援を学ぶ。
ヒヤリ・ハット事故事例検討	2月17日	ヒヤリ・ハット報告の検証と事例検討を行い、事故発生時の対応について周知する。
マニュアル研修 (業務継続計画)	3月11日	業務改善・マニュアルの見直しを行い、最新の制度やご利用者の状況などに応じた内容に変更する。

[公益事業]

《 配 食 サ ー ビ ス 事 業 》

四万十町や各関係機関と連携・調整を図りながら町内の高齢者や障害者の方等に対し、昼夕２食の配食を行ってきた。

４月からの新規契約者は２８名と前年度に比べ約４割減少するとともに上半期は１日平均１００食を維持するも下半期には平均８７食と減少傾向となり、ご利用者の入院や施設入所等による利用中止も多く、在宅生活の中で配食サービスを利用する期間が短くなっている。

食材費の高騰や固定費の割合が高いことから経営的に大変厳しいことから委託元の四万十町と現状の課題等について報告し、検討を行った結果、四万十町内の配食ニーズについては徐々に減少していくことから、事業が継続できるよう来年度からの委託契約を見直すこととなった。

配食サービス事業の目的にもある「ご利用者の安否確認」については、新規契約時に事前に話し合い、個別に不在時の連絡体制を定め、配達時の安否確認を徹底して行ってきた。また回収弁当の害虫（蟻など）が配達弁当に入らないよう除去しながら駆除剤を配布するなど対策を行うとともに、回収食器の確認、必要に応じて食事摂取量の確認も行いながら配達を行った。

４月には配送車輛の老朽化のため、保冷車輛から中古のミニバン車輛へ買い替えを行い、また、配達員１名が１０月末に退職したが、人件費面から職員が多くローテーションに加わり、コスト削減に努めてきた。

月別配食集計表

	実 績 数				実利用者数		
	委託	自費	小計	１日平均	委託	自費	小計
４月	２,７６５	１５６	２,９２１	９７.４	８５	９	９４
５月	２,９５５	１４２	３,０９７	９９.９	８５	６	９１
６月	２,８８８	１３５	３,０２３	１００.８	８６	７	９３
７月	２,９６９	１２１	３,０９０	９９.７	８６	６	９２
８月	２,９９８	１１１	３,１０９	１００.３	８３	５	８８
９月	２,７８３	１２０	２,９０３	９６.８	８１	６	８７
１０月	２,７３２	１１４	２,８４６	９１.８	７７	５	８２
１１月	２,５５７	９９	２,６５６	８８.５	７７	５	８２
１２月	２,５９２	１１０	２,７０２	８７.２	７４	５	７９
１月	２,４８６	１３３	２,６１９	８４.５	７２	７	７９
２月	２,２３９	１３４	２,３７３	８４.８	７１	５	７６
３月	２,５０３	１３８	２,６４１	８５.２	７５	６	８１
合 計	３２,４６７	１,５１３	３３,９８０	—	９５２	７２	１,０２４
平 均	２,７０６	１２６	２,８３２	９３.１	７９.３	６	８５.３
前年度平均	３,２５７	１３１	３,３８８	１１１.４	９４.７	７	１０１.７

《 地域における公益的な取組 》

明成会地域サポート隊推進会議（２月２６日）で検討した今年度の事業計画に基づき、次の地域における公益的な取組みを実施してきた。

１ 地域に向けた活動

○ 明成会地域サポート隊による活動の実施

・清掃活動

実施日	参加人数	内 容
７月２７日		（荒天のため中止）
１０月２６日	１０名	六反地駅・施設周辺の草刈り

○ 月１回各宅老所へ出前講座を予定

- ・影野宅老所 １０回
- ・六反地宅老所 ９回

２ 地域その他機関とのネットワーク活動

高知リハビリテーション専門職大学の実習の受入れと交流を通して、関係機関とのネットワークづくりを積極的に実施

３ 福祉避難所の活用

認知症の人とその家族が安心して暮らせるまちづくりを推進することを目的とした四万十町認知症カフェ事業『名称:しまんとオレンジカフェほほえむ』の委託を受け、原則、毎月第３金曜日に定期的を開催した。

開設３年目となり徐々に地域との関係性も深まり、人伝にカフェの参加人数が増えてきた。

プログラム内容も年間計画を立て、ミニ講和やレクリエーション、地域の方の発表の場など様々なお楽しみの時間を提供してきたことで、参加者にはコミュニケーションの場となり、毎回楽しみにされているように感じられた。担当の職員が様々な話題提供を行い特技や知識を地域に活かすことで法人としての地域貢献活動の経験につながり、職員にとっても良い効果が得られ、オレンジカフェが徐々に地域に定着してきた。

実施日	参加者数	テーマ等
４月１８日	１３名	手作りおやつ
５月１６日	１６名	ボッチャ大会
６月２０日	１１名	健康講座（水分摂取の大切さ）
７月１８日	１４名	啓発活動（仁井田駐在所連絡協議会）、脳活クイズ
８月２２日	１２名	音楽体操
９月２６日	１３名	筋力トレーニング
１０月１７日	６名	脳トレーニング（漢字クイズ）
１１月２１日	９名	お楽しみ（マジック、テーブルクロス引き）
１２月１９日	１５名	認知症研修（四万十町包括支援センター）
１月１６日	１３名	太鼓演奏

2月20日	18名	カラオケ大会
3月20日	14名	お楽しみ“水草について”
平均	12.8名	

4 既存事業の利用料の減額・免除

- ・介護保険事業（デイサービスセンター緑林荘及びデイサービスセンターさくら貝）における社会福祉法人による利用者負担軽減を実施